

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		担当課		シティセールス課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
								(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
オラレ志布志事業		担当G		おもてなしグループ		活動指標（実施状況）		単位	(実績)	(実績)	(実績)		
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系		予算科目		1 7 1 2		備考		ア 広報、啓発回数		回	
(個別目標)		3		商業が発展し続けるまち		主な費目		使用料及び賃借料		イ			
(施策)		2		商業の振興		対象		商工業者		成果指標（成果・効果）		単位	
(基本目標)		総合戦略		4		魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		事業期間		ア 入場者数		人	
(施策)		2		商工業賑わい創出プロジェクト		平成21 年度～ 年度（ 年間）		イ オラレ売上額		円		857,689	
(1) 総事業費の推移		単位		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	(4) 評価		所管課による評価	
年間トータルコスト		事業費		(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価		有効性評価	
財源内訳		国県支出金		千円						・市民のニーズ		オラレ志布志のPRを徹底することで来場者が増え、オラレの売上額や相乗効果としてアピアテナントの売上増も期待できる。	
その他特定財源		千円		375	1	13,828	14,000	14,000		・事業の効果		売上金の3%が市の収入となるため、その一部を商工業振興事業や教育・防犯事業に充てている。	
一般財源		千円		13,462	13,816	0	0			・政策との整合性			
事業費計 (A)		千円		13,837	13,817	13,828	14,000	14,000		・事業を廃止の影響			
所要人員 (年間)		人		0.025	0.025	0.025	0.025	0.025		・類似事業との連携			
人件費概算 (B)		千円		140	140	140	140	140		・公平性			
(A) + (B)		千円		13,977	13,957	13,968	14,140	14,140		効率性評価		売上増が市の収入増に繋がり、単純明瞭な仕組みで一般財源でなく売上収入から家賃を捻出するなど効率性は非常に高い。	
(2) 事業概要		事業目的		競艇場外発売場オラレ志布志を設置し、収入金の中から施設借上料を除く財源を基金に積み立て、地域振興に活かす。		事業内容		オラレ志布志の収入金の中から、事業による協力費として3%が市に振込まれ、(株)志布志まちづくり公社の施設借上料13,461,924円/年を除く収入をオラレまちづくり基金に積み立て、教育、商工振興などの財源に充てている。		達成度評価		・数値目標	
開始経緯		「オラレ志布志」を設置し、年間家賃を得ることで、(株)志布志まちづくり公社の安定的な収入の確保につながる。また、オラレ入場者によるアピア各テナントの売上増が期待されると同時に、オラレまちづくり基金を積立て、教育、商工振興などに充てることにより、各分野の振興が図られることを目的としている。		実施状況		株式会社志布志まちづくり公社の施設の一部を借上げ、競艇場外発売場オラレ志布志を設置し、収入金は施設借上料と市の活力あるまちづくりに資するためのオラレまちづくり基金に積み立てた。また、積立てた基金からは、防犯ノベルティとして新入学生防犯ブザーや反射タスキの購入費、商工業振興に係る創業補助金にも充てている。		改革改善案		来場しやすい環境整備を行いながら顧客の信頼を得ること、啓発及びPR活動を続けることで、安心感と認知度の向上を図る。		・実現性	
成果		(1) 競艇場外発売場売上金 764,998,200円 (2) 競艇場外発売場オラレ収入金 22,949,946円 (売上金の3%) (3) オラレまちづくり基金積立金 9,567,137円 令和5年度末現在高 33,259,893円 (内訳) 収入金 9,488,022円、利子・配当金 79,115円 (4) (株)志布志まちづくり公社施設賃料 13,461,924円 (5) 教育振興及び防犯支援 455,000円		課題		競艇場外売上金は、当初の見込み額9億円に対して約84.9%の実績であり、前年と同水準を維持することができた。インターネット投票の割合が高い水準にある中で、場外発売場にいかにして足を運んでいただくか、また新たなファン（顧客）の獲得をどう図っていくのか検討が必要である。エネルギー・物価高騰の影響による来場機会の減少なども懸念される。		拡充		○ 現状維持		改善	
												効率化	
												廃止終了	

事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		観光施設改修事業					担当課	シティセールス課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
							担当G	おもてなしグループ					活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
							会計	款	項	目	備考	(実績)			(実績)	(実績)							
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	3	＜産業経済＞大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目	1	7	1	3		ア	修繕箇所数	箇所	5 17	9 24	11 34			
(個別目標)		4	地域資源を生かした観光のまち					主な費目	需用費、工事請負費					イ	修繕金額	千円	22,268 33,309	16,734 14,945	14,323 12,316				
(施策)		1	観光資源の整備、活用					対象	市民、観光客					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる										ア	観光入込客数	人	900,000 490,048	900,000 577,789	900,000 547,801				
(施策)		6	環境にやさしいまちの推進プロジェクト					事業期間	年度～ 年度（ 年間）					イ									
(1)総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価												
年間 トータル コスト	事業費 人件費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・市民が親しめる施設また地域活性化の拠点として利活用する施設としてニーズは高い。 ・施設を維持・運営することは、観光客誘致にも繋がり、事業の廃止は、大きな経済損失にもなる。											
		その他特定財源	千円																				
		一般財源	千円	33,309	39,632	34,992	26,797																
		事業費計（A）	千円	33,309	39,632	34,992	26,797	0															
		所要人員（年間）	人	0.050	0.050	0.050																	
		人件費概算（B）	千円	280	280	280	0	0															
(A) + (B)		千円	33,589	39,912	35,272	26,797	0																
(2)事業概要													効率性 評価	・必要に迫られた箇所を修繕している状態のため、事業費削減は難しい。 ・市民が親しめる施設また地域活性化の拠点として市民や観光客のニーズは高いことから、財政負担は必要である。 ・いずれの施設とも密に連携・情報共有している。									
事業目的	観光施設の整備について、経年劣化等により業務に供することができなくなった箇所を改修することにより、サービスの維持及び向上を図る。																						
事業内容	ダグリ岬遊園地、海水浴場及び蓬の郷施設の整備・修繕																						
開始経緯	観光客誘致及び市民が親しむ施設として欠かせない観光施設について、現在指定管理として管理・運営業務を委託しているが、施設運営上必要な部分については市が修繕等を行う必要があるため。											達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間										
実施状況	蓬の郷赤トンボサウナ取替修繕、ダグリ岬遊園地プール送水管漏水修繕、小西地区駐輪駐車場身障者用トイレウォシュレット取替修繕等、修繕34件 工事請負 6件を実施した。																						
成果	修繕等を実施したことで、施設本体の維持が図られたとともに、利用者の利便性及びサービス向上に繋がった。											改革改善 案	拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了										
課題	いずれの施設も老朽化が進んでおり、毎年修繕箇所が出てくる。修繕計画はあるものの突発的な緊急修繕が必要となるケースも多い。												・大規模修繕にならないよう、指定管理者と情報を共有しながら日々の定期点検を実施し、早期発見による小規模修繕を行っていく。										

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		蓬の郷（ふれあい交流センター以外の施設）指定管理委託事業		担当課		シティセールス課				(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
				担当G	おもてなしグループ					活動指標（実施状況）		単位	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）
				予算科目	会計	款	項	目	備考				（実績）	（実績）	（実績）			
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	1	7	1	3		ア	修繕件数	件	3 2	2 2	3 4		
（個別目標）		計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料（指定管理料）、修繕料					イ	イベント実施回数	回	2 2	2 2	2 2	2	
（施策）		1	観光資源の整備、活用		対象	施設利用者（市民・観光客）					成果指標（成果・効果）		単位	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）
（基本目標）		総合戦略									ア	施設利用人数	人	6,600 8,362	6,600 9,685	6,600 7,129		
（施策）					事業期間	平成25 年度～ 年度（ 年間）					イ							
(1) 総事業費の推移				単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価					
年間 トータル コスト	事業費 内訳 人件費	財源内訳	国県支出金	千円							有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・子供たちの自然観察学習の場、市民や観光客の癒しの場として親しまれており、観光振興からも重要な施設となっている。 ・事業を廃止することで、市民のふれあいの場がなくなり、地域活性化が図られなくなる。					
			その他特定財源	千円	6,277	6,277	6,277	6,277										
			一般財源	千円														
			事業費計 (A)	千円	6,277	6,277	6,277	6,277	0									
			所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025											
			人件費概算 (B)	千円	140	140	140	0	0									
			(A) + (B)	千円	6,417	6,417	6,417	6,277	0									
(2) 事業概要																		
事業目的		現在ある観光資源を生かし、市内外からの観光客誘致のため、蓬の郷ふれあい交流センター以外の施設となる親水公園やその周辺を委託し、魅力ある施設となるよう整備する。									効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携		・指定管理者により造園業者の専門性を活かした適切な維持管理、効率的な運営がなされているため、これ以上の事業費削減は難しい。				
事業内容		親水公園と周辺施設の整備、景観の維持を含めた管理運営業務を主に、「あじさい祭り」や「オータムフェスタ」等のイベントも開催し、本市の観光施設として賑わいを創出する。																
開始経緯		平成25年度から親水公園周辺施設とふれあい交流センターの管理者を分け、より専門性の高い指定管理者に管理運営を委託することで、効果的かつ効率的な施設運営が図られ、施設の設置目的である地域活性化の観点からも市民が自然と触れ合える施設とする必要があったため。									達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間		・民宿村を含めた周辺施設との連携を今以上に図り、新たな自主企画などを通じ、蓬の郷周辺が一体となり、コロナ禍により外出意欲の低下した市内外住民の集客を図る必要がある。				
実施状況		親水公園及び周辺施設を特定非営利活動法人志布志みどりのプロジェクトを指定管理者として管理委託し、日々の清掃管理を行い地域活性化を図っている。また、指定管理者の自主事業として花壇の整備や「オータムフェスタ」を行い、賑わい創出と景観の向上に尽力している。																
成果		親水公園及び周辺施設は専門業者の特性を生かした景観整備を実施し、環境学習の場や癒しの場として市内外の利用者に広く活用されている。また、観光特産品協会と連携しイベント等を実施したことにより施設の賑わい創出につながり、隣接する蓬の郷ふれあいセンターへの集客にも寄与した。									改革 改善 案	拡充	○	現状維持	改善	効率化		廃止終了
課題		近隣施設であるふれあい交流センター及び民宿村等との連携を図り、観光客や宿泊客が立ち寄りたくなるような施設とするため集客につながるイベント等の強化を検討する必要がある。										・幼児や福祉関係者などユニバーサルデザインに配慮した施設整備を図る。 ・蓬の郷周辺の関係者と密に連携し、より多くの集客を図る。						

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		ダグリ公園指定管理委託事業					担当課		シティセールス課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度								
							担当G		おもてなしグループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
							会計		款	項	目	備考	(実績)	(実績)	(実績)											
まちづくりプラン （基本目標）	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目	1	7	1	3		ア	利用料金収入額	千円	27,570 54,913	27,570 61,061	27,570 53,495							
（個別目標）	画体系	4	地域資源を生かした観光のまち					主な費目	委託料（指定管理料）、修繕料					イ												
（施策）		1	観光資源の整備、活用					対象	施設利用者（市民・観光客）					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
（基本目標）	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる											ア	遊園地利用者数	人	31,000 44,442	31,000 45,686	31,000 38,696							
（施策）		5	観光パワーアッププロジェクト					事業期間	平成28年度～ 年度（ 年度年間）					イ												
(1) 総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)		5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (計画・予算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		(4)評価		所管課による評価									
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円										有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・ダグリ公園周辺は市の観光振興計画でも重点コンテンツとして位置付けており、本市の観光拠点となっている。特に海水浴場及び遊園地は、総合的な観光レクリエーション施設として、今後も集中的に整備活用し、観光振興及び地域活性化を図る。 ・事業を廃止することで、本市の観光の中核施設が無くなり、観光客の激減が予測される。										
			その他特定財源	千円	14,840	14,840	14,840	15,690																		
			一般財源	千円																						
	人件費		事業費計（A）	千円	14,840	14,840	14,840	15,690	0																	
			所要人員（年間）	人	0.500	0.500	0.500	0.500																		
			人件費概算（B）	千円	2,800	2,800	2,800	2,800	0																	
			（A）＋（B）	千円	17,640	17,640	17,640	18,490	0																	
(2)事業概要																										
事業目的	ダグリ公園のうち遊園地及び海水浴場周辺を管理・運営することで、市民や観光客のレクリエーションの場として快適に利用することができ、本市観光振興及び地域活性化が図られる。															効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	・指定管理者により効率的な運営が行われており、様々なメディアを活用したPRや周辺の観光関連施設との連携も図られている。海水浴場については、徐々に景観が整備されつつあるが、老朽化した施設の更新が必要であり、今後の財政的支出が必要である。								
事業内容	ダグリ公園のうち遊園地及び海水浴場周辺の管理・運営を指定管理者に委託する。																									
開始経緯	国定公園の範囲に属するダグリ岬公園のうち遊園地及び海水浴場周辺は、県内唯一の遊園地として、市の観光振興計画でも重点コンテンツとして、重要な観光拠点となっている。															達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	・アフターコロナでの運営に際し、安全安心な施設運営を引き続き実施し市内外にPRをすることで、今後、国・県のコロナ経済支援策終了後も継続して誘客に繋げる。平成30年度の水準まで回復させ、維持することが必要である。 また、遠方への旅行ニーズへの高まりがある中、広く教育旅行等の団体客の誘致にも力を注いでいく必要がある。								
実施状況	(株) 谷口製作所が指定管理者として令和3年度から5年間の管理期間で運営を行っている。																									
成果	令和6年度は、長雨や地震の影響により入園者が減少したものの計画対比においては黒字を維持している。															改革改善案	拡充		○	現状維持		改善		効率化		廃止終了
課題	老朽化する施設の年次的な改修を実施しているが、指定管理者所有の遊具についても、魅力向上のための改修及び新規導入を行っていく必要がある。																遊園地で現在実施しているような周辺の観光関連施設と連携イベントを開催することで通年での誘客が可能となることから、遊園地との相乗効果が期待できる。遊園地の利用客が利用しやすい施設整備を継続的に行う必要がある。									

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		総合観光案内事業		担当課		シティセールス課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度								
				担当G		おもてなしグループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
				会計	款	項	目				備考	(実績)	(実績)	(実績)									
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画	3	＜産業経済＞大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち		予算科目		1	7	1	3	ア		観光ガイド人数		人	14 13	14 13	14 13				
(個別目標)		画面体系	4	地域資源を生かした観光のまち		主な費目		委託料		イ		総合観光案内所訪問者数		人	14,000 6,315	14,000 13,866	14,000 10,313	14,000					
(施策)		3	「おもてなし」のまちづくり		対象		市民・観光客		成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)						
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる					ア		宿泊者数		人	80,000 97,459	85,000 95,046	90,000 101,345							
(施策)		5	観光パワーアッププロジェクト		事業期間		平成20年度～ 年度（ 年間）		イ		観光入込客数		人	900,000 490,048	900,000 577,789	900,000 547,801							
(1)総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価												
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円					有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	観光客の案内、おもてなしをする施設は他になく業務の必要性は高い。 また、本市を訪れる観光客全てに対応するため公平性も高いと考える。												
			その他特定財源	千円	4,181	4,530	5,791	5,622															
			一般財源	千円																			
	人件費	事業費計 (A)	千円	4,181	4,530	5,791	5,622	0															
		所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100																	
		人件費概算 (B)	千円	560	560	560	0	0															
(A) + (B)		千円	4,741	5,090	6,351	5,622	0																
(2)事業概要												効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	・観光案内所については本市のイメージを直接左右することにも繋がるので、適切な研修等が必要であり、人件費等が主な負担のため、削減余地は少ない。									
事業目的	本市を訪れるお客様に「再び訪れたいまち」と印象付けられるよう、市総合観光案内所の運営、観光ガイドの育成等を行う。																						
事業内容	・観光客の案内や、情報収集、手荷物預かり、レンタサイクル対応など観光客の心に寄り添う窓口対応。 ・観光統計情報収集業務 ・観光ガイド育成によるツアーガイド																						
必要性	訪れた観光客へ懇切丁寧な観光案内と「おもてなし」をすることで、本市の魅力を伝え、再び訪れていたくとも、おもてなしの玄関口となるJR志布志駅周辺において、ぼっぼマルシェを開催することで、周辺の賑わいを創出する必要があるため。※事業開始時にはぼっぼマルシェは本事業で開催。										達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	・観光客に適切な観光情報の提供を行っている。 ・コロナ終息後に向けた、様々な取組を今のうちに協議・検討し、情勢にマッチした情報発信、イベント開催が求められる。										
実施状況	総合観光案内所の運営を志布志市観光特産品協会に委託し、まちかど案内所運営協力依頼・観光ガイド育成事業・レンタサイクル・観光統計情報収集を行っている。（総合観光案内所訪問者数：10,313人、レンタサイクル貸出件数：301件、志布志城郭符販売実績：1,330枚等）																						
成果	・観光案内所運営において、観光客に適切な観光情報やおもてなしを提供し、観光客のリピー率向上に寄与。 ・日本遺産麓地区を案内する観光ガイドの育成強化によるツアーガイドの実施。										改善 改善案	拡充		○	現状維持	改善	効率化	廃止終了					
課題	・後継者不足となっている観光ガイドの育成。											・コロナ禍後の観光客が増えつつある中、再訪していただくための観光PR（リピーター獲得）等、引き続きおもてなし向上に努める必要がある。 ・観光ガイドの人材育成を図るため、ガイド組織の募集について市内へ周知する。											

事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		イベント運営事業		担当課		(3)指標の推移					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度								
				担当G		シティセールス課					活動指標（実施状況）		単位	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）					
				おもてなしグループ		会計	款	項	目	備考				（実績）	（実績）	（実績）								
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	3	＜産業経済＞大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち		予算科目	1	7	1	3		ア	企画の数		個									
（個別目標）		計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち		主な費目	負担金補助及び交付金					イ	分野別スタッフ会議の回数		回	14	15	15						
（施策）		体系	1	観光資源の整備、活用		対象	市民・観光客					成果指標（成果・効果）		単位	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）	（目標）				
（基本目標）		総合戦略																						
（施策）		戦略										事業期間	年度～ 年度（ 年間）					ア	観光入込客数		人	900,000 490,048	900,000 577,789	900,000 547,801
												イ												
(1)総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)		5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (計画・予算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		(4)評価		所管課による評価							
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円									有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性		・歴史や伝統あるもの、市民の癒しや賑わいづくりになるもの、地域活性化に繋がるもの等、目的は様々なが、それぞれに市民からの開催要望は根強い。 ・本市観光振興計画においても重要な施策に位置付けられている。 ・現状で補助金の休止・廃止は祭りの継続が困難となる。								
			その他特定財源	千円		19,513		20,463																
			一般財源	千円	13,681		19,693																	
			事業費計（A）	千円	13,681	19,513	19,693	20,463	0															
		人件費	所要人員（年間）	人	0.600	0.600	0.600																	
			人件費概算（B）	千円	3,360	3,360	3,360	0	0															
(A) + (B)		千円	17,041	22,873	23,053	20,463	0																	
(2)事業概要																								
事業目的	特色あるイベントを通じて観光客を呼び込むとともに、市民が知恵を出し合って協力し合い、主体的に取り組む「市民総参加型」のイベントを実施することにより、地域活性化を推進する。															効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携		景気や新型コロナウイルス感染症拡大の動向など社会的情勢により寄付金の回収が困難な場合もあり、財政的支援も必要である。 また、近年の警備要員人件費の向上もあり、経費削減はおろか、増額の必要性も出てきている。					
事業内容	本市3大まつり（お釈迦まつり、志布志みなとまつり、やっちく松山藩秋の陣まつり）を開催することで、伝統文化の維持や市内外住民の癒し、地域活性化を図る。																							
開始経緯	・地域活性化や賑わいづくり、市民の癒しの場の確保等。 ・本市のメインとなるイベントであり、市民も開催を待ち望んでいる。															達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間		重要な観光資源として多くの入込客を誘客できている。 上位目標である観光入込客数の増加に寄与する部分は大きい。今後コロナ禍での新しいイベントの形に対応した運営方法の検討も必要である。					
実施状況	令和6年度：お釈迦まつり開催（4月29日） 志布志みなとまつり開催（7月21日） やっちく松山藩秋の陣まつり（11月10日） イルミネーション点灯式開催（11月30日）																							
成果	令和6年度については、お釈迦まつり（主催者発表45,000人）、志布志みなと祭（主催者発表48,000人）、やっちく松山藩秋の陣まつり（主催者発表20,000人）、志布志イルミネーション（主催者発表40,000人）															改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了		
課題	各まつり共に実施方法を創意工夫して人員不足に対応している。市民の参画機会を増やす取り組みを考えていく必要がある。																実行委員会の高齢化や人員不足もあり、担い手となる地元高校生を含む体制見直しを実施する必要がある。体制見直しにより、新たな企画や地域への愛着も生まれ、地域の活性化のツールの一つになる。							

事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名			国民宿舎ボルベリアダグリ改修事業					担当課		シティセールズ課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
								担当G		おもてなしグループ		活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
														</					

事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		ダグリ岬公園周辺整備事業					担当課		シティセールス課		(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度					
							担当G		おもてなしグループ					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
							予算科目		会計	款	項	目	備考				(実績)	(実績)	(実績)				
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	3	＜産業経済＞大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目	1	7	1	3										
(個別目標)			4	地域資源を生かした観光のまち					主な費目	委託料、公有財産購入費													
(施策)			1	観光資源の整備、活用					対象	市民、観光客					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)			4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる																			
(施策)		総合戦略	5	観光パワーアッププロジェクト					事業期間	年度～ 年度（ 年間）													
(1)総事業費の推移		単位	4年度 (実績・決算)		5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (計画・予算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		(4)評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円										有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・ダグリ岬公園周辺基本整備計画及び観光振興計画においても、ダグリ岬周辺の観光資源としての価値は非常に高いとしている。 ・本市観光の重点コンテンツであるため、整備をすることで市内への誘客効果は高い。							
			その他特定財源	千円	18,830	4,449		13,065															
			一般財源	千円			3,564	0															
		事業費計（A）	千円	18,830	4,449	3,564	13,065	0															
	人件費	所要人員（年間）	人	0.200																			
		人件費概算（B）	千円	1,120	0	0	0	0	0														
		(A)＋(B)	千円	19,950	4,449	3,564	13,065	0	0														
(2)事業概要																							
事業目的	第2次志布志市観光振興計画においても重要コンテンツとなっている「ダグリ岬」公園周辺を整備し、観光の拠点として活用する。																						
事業内容	ダグリ岬公園と周辺の市有地を開発することで、本市の観光の核となる施設を整備する。																						
開始経緯	ダグリ岬公園周辺整備基本計画において、整備区域である土地の購入を進めること。また、購入した土地においてPFI方式での民間企業による施設整備の可能性の検討調査を行うことは、本市における観光拠点の整備として重要性が高い。また、海水浴場におけるトイレの景観の悪さから本市のイメージダウンに繋がることから、解体による景観整備を図ることは必須である。																						
実施状況	H30年度 旧夏井壮解体工事 R2年度 ダグリ岬海水浴場景観整備伐採業務・ダグリ岬海水浴場転落防止柵等設置工事 R4年度 ダグリ岬周辺整備用地取得・測量設計実施 令和5年度ダグリ岬周辺整備用地伐採																						
成果	開発予定地の維持管理を実施しながら開発の基本方針を策定し、次年度に計画している実施計画策定につなげた。																						
課題	開発予定地のうち残り6筆約1,000㎡が未取得である。用地取得に向け交渉を継続する必要がある。																						
		○ 拡充		現状維持		改善		効率化		廃止終了		三角地の開発にあたっては、民間事業者提案制度等を活用し、開発コストの縮減に努めていく。											

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名			大隅広域観光開発推進会議					担当課	シティセールス課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度						
								担当G	おもてなしグループ					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)					
								予算科目	会計	款	項	目	備考				(実績)	(実績)	(実績)								
まちづくりプラン （基本目標）			振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目		1	7	1	3		ア	事業実施数	回	8 6	8 6	8 6					
（個別目標）			計画体系	4	地域資源を生かした観光のまち					主な費目		その他団体負担金					イ		スタッフ会議の回数	回	15 7	10 7	10 7				
（施策）			体系	2	PR・誘客活動の推進					対象		観光客					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
（基本目標）			総合戦略														事業期間		年度～ 年度（ 年間）					ア	観光入込客数	人	900,000 488,437
（施策）			戦略														イ										
(1) 総事業費の推移			単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価															
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	・ キャンプやサイクリングなど、密を避ける旅行のニーズが高まっている。 ・ 観光地が点在する大隅地域において、単独自治体での取り組みではなく、近隣自治体と連携した誘客を図るため、広域的な視点に立った事業を創出すべきである。 ・ 行政で組織する当会議と民間で組織するおおすみ観光未来会議やO h すみっこクラブ等との連携も図られている。															
		財源内訳	その他特定財源	千円																							
		財源内訳	一般財源	千円	3,578	3,573	4,556	4,208																			
		事業費計	(A)	千円	3,578	3,573	4,556	4,208	0																		
		所要人員	(年間)	人																							
		人件費概算	(B)	千円	0	0	0	0	0																		
			(A) + (B)	千円	3,578	3,573	4,556	4,208	0																		
(2)事業概要													効率性 評価	・ コロナ禍において観光入込客の激減した大隅地域への入込客の増を図る様々な施策を展開する必要があるため、より効果的・効率的な事業を実施することは当然とした上で、事業費の削減は難しい。 ・ 特におおすみ観光未来会議とは密に連携しており、誘客事業を実施している。													
事業目的	大隅広域観光開発推進会議は、大隅地域のけん引役として大隅地域のブランド化を図り、戦略に基づく一貫したプロモーションを展開し地域資源を活用した地域の「稼ぐ力」を創出し、将来的には集客・消費拡大による地域産業の振興、雇用創出、定住促進を目指しながら大隅らしい観光地域づくりに取り組む。																										
事業内容	①副首長、課長会、担当者会の開催 ②大隅広域観光推進事業 ③薩摩半島・大隅半島を繋ぐ周遊観光促進事業 ④大隅半島誘客促進事業 ⑤大隅半島観光魅力発信事業 ⑥大隅PR推進事業 ⑦観光かごしま大キャンペーン推進協議会への参画																										
必要性	開始経緯	本市は、さんふらわあやJR志布志駅を活用した大隅半島への玄関口であるが、大隅半島の魅力ある観光スポットは大隅半島全域に点在していることから、本市単独の観光振興策だけでなく広域的な観光振興の視点を持って本市の観光入込客増対策や観光特産品振興を推進することが必要である。											達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間	・ マイクロツーリズムニーズにも限りが見える中、近隣県だけでなく遠方からの修学旅行誘致を図る。 ・ 密を避ける観光客誘致のため、広域的に連携し、サイクルツーリズム等にも取り組む。 ・ 少しずつ回復傾向にある合宿団体の誘致に向け、旅行AGT訪問を積極的に行う。												
実施状況	①課長会（4回）、担当者会（7回） ②ドライブスタンプラリーの開催（いぶすき広域観光推進協議会との連携） イベント期間8月～10月 ③大隅半島団体旅行誘致促進事業 申請23件 交付23件																										
成果	関係市町の観光特産品素材の活用状況やPR手法を課長会や担当者会を通じて共有することで、大隅広域観光開発推進会議の強みを生かした観光誘客が可能となっている。											改革改善案	拡充		○	現状維持		改善		効率化		廃止終了					
課題	本市への観光誘客については成果がでているものの、目標とする大隅地域4市5町全域への送客や誘客までは至っていない現状がある。これが実現した場合、本市にはより一層の誘客が見込まれるため、官民一体となった更なる観光地域づくりが必要である。												・ SNS等を活用した効果的な情報発信を充実させる必要がある。														

拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		ダグリ岬海水浴場周辺海岸漂着物処理委託事業		担当課	シティセールス課					(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度										
				担当G	おもてなしグループ					活動指標（実施状況）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)										
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画体系	3	＜産業経済＞大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	回収作業	回	26 26	26 26	26 26											
(個別目標)			4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	委託料					イ																
(施策)			1	観光資源の整備、活用	対象	市民、観光客					成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)									
(基本目標)		総合戦略			事業期間	年度～ 年度（ 年間）					ア																
(施策)											イ																
(1)総事業費の推移				単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価														
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円	1,552	0	748	2,200			有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	ダグリ公園周辺は市の観光振興計画でも重点エリアとして位置付けており、特に海水浴場及び遊園地は、総合的な観光レクリエーション施設として、今後も集中的に整備活用し、観光振興及び地域活性化を図る。														
		その他特定財源	千円	538																							
	一般財源	千円		0	187	550																					
	事業費計 (A)	千円	2,090	0	935	2,750	0																				
	所要人員 (年間)	人	0.025	0.025	0.025																						
	人件費概算 (B)	千円	140	140	140	0	0																				
(A) + (B)		千円	2,230	140	1,075	2,750	0			効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	海水浴場は、毎年の台風、大雨により漂着する海洋ごみが滞留し、海岸が荒らされていくため、海洋ごみの回収・処分を行う必要である。															
(2)事業概要																			達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間							
事業目的	ダグリ岬海水浴場周辺に漂着する海洋ごみ等の回収・処分を委託することにより年間を通じた景観維持を図り、市内外から訪れる利用者に気持ち良く利用してもらい、観光拠点としての魅力向上及び地域経済活性化を図る。																										
事業内容	ダグリ岬海水浴場周辺に漂着する海洋ごみ等の回収・処分を委託する。																										
開始経緯	国定公園の範囲内に属するダグリ岬公園のうち海水浴場周辺は、市の観光振興計画でも重点エリアとして重要な観光拠点となっている。									改革 改善案	現状維持																
実施状況	通年管理分 春季（4月～6月）2回／月 夏季（7月～9月）5回／月 秋・冬季（12月～1月）1回／月																										
成果	8月末に発生した台風10号の影響により大量の漂着ごみが発生したが適正に処理することができた。									拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了												
課題																											

令和 7 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成

事務事業名		蓬の郷（ふれあい交流センター）指定管理委託事業					担当課		シティセールス課				(3)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
							担当G		おもてなしグループ				活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
		3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち					予算科目		会計	款	項				目	備考	ア	年間利用者数	人	200,000	200,000	20,000
(個別目標)								4	地域資源を生かした観光のまち					主な費目		委託料					イ		
(施策)		1	観光資源の整備、活用					対象	市民、観光客				成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)																	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
(施策)		総合戦略						事業期間	年度～年度（ 年間）				ア	観光入込客数	人	900,000	900,000	900,000					
																	490,048	577,789	547,801				
(1) 総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	(4) 評価		所管課による評価												
年間トータルコスト	財源内訳	国県支出金	千円						有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・子供たちの自然観察学習の場、市民や観光客の癒しの場として親しまれており、観光振興からも重要な施設となっている。 ・事業を廃止することで、市民のふれあいの場がなくなり、地域活性化が図られなくなる。												
	事業費計	その他特定財源	千円																				
		一般財源	千円	12,244	0	0	0	0															
		(A)	千円	12,244	0	0	0	0															
		所要人員（年間）	人	0.025																			
		人件費概算（B）	千円	140	0	0	0	0															
(A) + (B)		千円	12,384	0	0	0	0	0															
(2) 事業概要																							
事業目的	市民のふれあい交流の促進、地域間交流の促進、健康ライフの増進、青少年の自然観察学習の促進及び地域の活性化を図る。											効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携										
事業内容	蓬の郷（ふれあい交流センター）を中心としたお風呂や地元特産品を味わうことができるレストランと宴会場の運営、地元特産品を販売する魅力的な売り場づくりを通じて、市内外からの利用客が集う施設として営業を行う。																						
開始経緯	平成25年度から親水公園周辺施設とふれあい交流センターの管理者を分け、より専門性の高い指定管理者に管理運営を委託することで、効果的かつ効率的な施設運営が図られ、施設の設置目的である地域活性化の観点からも市民が自然と触れ合える施設とする必要があったため。											達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間										
実施状況	年間施設利用者 167,270人（平成30年度対比 221,044人 75.6%） (1)風呂利用者：120,846人（平成30年度対比 151,630人 79.6%） (2)レストラン利用者：31,970人（平成30年度対比 47,621人 67.1%） (3)宴会会利用者：14,449人（平成30年度対比 21,793人 66.3%）																						
成果	コロナ禍において減少した利用客は回復傾向にあるものの未だに24.4%減となっている。風呂営業については、物価高騰が長引いており厳しい状況であるが営業を継続することができている。											改革改善案	・周辺施設と連携した集客イベントの実施を検討する。										
課題	施設安定運営のためには、利用客の獲得が必要なため、周辺施設と連携した集客対策について検討していく必要がある。																						

167270	221044	0.756727
120846	151630	0.796979
31970	47621	0.671342
14449	21,793	0.663011